

メディアスポーツ論		講義	非常勤講師 武田 作郁	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの選択必修科目, スポーツトレーナーコースの専門選択科目	科目ナンバリング	11312205	

1. 授業のねらい・概要

現代社会において、スポーツに関する情報は、テレビやインターネットを通じてリアルタイムに全世界へと配信され、人々の関心を集める重要なコンテンツのひとつになっている。本授業では、スポーツとメディアの歴史やスポンサーなどのステークホルダーとの関係性、メディアの影響力について学びながら、スポーツとメディアの関わり合いについて理解を深めていく。

2. 授業の進め方

パワーポイントの資料や映像を用いた講義形式で授業を進めていく。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. メディアスポーツの社会的意義
2. メディアスポーツとは	10. スポーツメディアと映像技術
3. スポーツ報道の歴史	11. スポーツ観戦の変容（ニューメディア）
4. メディアの変容（ジャーナリスト、ラジオ）	12. スポーツ観戦の変容（テクノロジー）
5. メディアの変容（テレビ、雑誌、IT）	13. スポーツ観戦の変容（スポーツメディアビジネス）
6. メディアスポーツの魅せ方	14. スポーツとメディアに関わる法と政策
7. スポーツの物語性とメディア（駅伝）	15. まとめ
8. スポーツの物語性とメディア（アニメ）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業開始までに前回の授業内容を復習し、疑問点などを明確にしておくこと。これらの準備学習には2時間程度が必要である。また、日常的に新聞、テレビ、ラジオにおけるスポーツやニュースに注意を向けて、関連する事柄の情報収集を怠らないこと。これらの準備学習には2時間程度必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業内で適宜解説する。

6. 授業における学修の到達目標

スポーツとメディアの歴史や、スポーツにおけるメディアの役割を理解し、スポーツ参加者、実施者とメディアの良好かつ発展的な関係性を考察することができる。

7. 成績評価の方法・基準

受講態度+レポート課題への取り組み（60%）、期末課題（40%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

特定のテキストは使用しない。参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

特になし。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当なし。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。